

専門教育科目

講義科目

授業科目名	税理士のための財務諸表論Ⅲ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	林 恵子	EJ28	3・4	2

科目の概要

本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることである。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。
*EJ27（税理士のための財務諸表論Ⅱ）からの継続授業となる。

科目の到達目標

- ①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。
 - ②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。
- *EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）全体としての到達目標となる。

テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書&問題集（3）』TAC税理士講座(編), TAC出版
------	--

テキストの読み方

- ①財務諸表論の全体構造の大まかな理解が進んだところで、教科書掲載の順番に、無形固定資産、研究開発費、繰延資産等の資産勘定を理解する。
- ②次に、金銭負債、引当金等の負債勘定基礎を学び、学習を進める。
- ③そして、株式資本、新株予約権等の資本勘定の基本を学んでいく。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
- または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。